

# テレビ×スポーツ×ドキュメンタリー 大学生は何を求めるのか？

社会共創学部 地域資源マネジメント学科  
スポーツ健康マネジメントコース  
3回生

ステークホルダー 愛媛朝日テレビ (eat)  
期間 2019年9月～2020年1月

2018年からeatと取り組んできた課題は  
**「若者のテレビ離れ」**

フィールドワーク基礎／実践  
体験・視察・グループワーク  
フィールドワーク

結果

若者はインターネット、携帯  
端末、パソコンによる情報に  
流れている

結果

若者世代も巻き込む視聴率に繋がる  
キラコンテンツは「**スポーツ**」

若者のテレビ離れ打開の一手?! になるかもしれない  
スポーツは、中継からバラエティ番組まで種々制作されている。その中で  
私たちは**ドキュメンタリー**に着目した。

スポーツ・ドキュメンタリー番組の  
認知度及び視聴の関係を調査する  
プロジェクト始動

2019年11月 愛大生200名  
質問紙配票によるアンケート  
調査実施

# なぜ、ドキュメンタリー番組×スポーツ？

ドキュメンタリーは、事実の記録に基づいた表現物を指す。

ドキュメンタリー番組は、俳優が演じるドラマではない。  
事実を提供し、記録したものに「主観的真実」を入れ込み放送する番組

＜ドキュメンタリー番組を放送する目的＞

→人を主人公にした場合、ひとりの人生を通して視聴者に、事実・真実、生きる喜びや努力、明日へのエネルギーなど前向きな影響を与えること

スポーツドキュメンタリー番組は、スポーツ中継では出せないスポーツやアスリートの真の魅力や感動を伝えることができるキラー・コンテンツ

しかし、私たち&eatは、“スポーツドキュメンタリー番組は認知度と視聴率が低い”マイナスイメージを持っていた。  
マイナスイメージは、正しいのか？　そこで、リサーチのニーズが生じて、私たちチームが今回プロジェクトでトライすることになった！

セブンルール

NNNドキュメント

テレメンタリー

アスリート魂

プロジェクトX

警察24時

現在オンエアされている主なドキュメンタリー番組

ガイアの夜明け

プロフェッショナル

奇跡のレッスン

カンブリア宮殿

情熱大陸

熱闘甲子園

# 情熱大陸

制作：TBS系列局

放送分：30分

放送期間：1998年4月～現在

放送時間：日曜日 23:00～23:30

スポーツ、演劇、音楽、学術、料理など  
第一線で活躍する人物、日本国内で活動  
する人物や、海外で活動する日本人、ス  
ポーツチーム全体などにスポットを当て、  
その人物の魅力・素顔に迫る



# テレメンタリー

制作：テレビ朝日系列局（愛媛朝日テレビ）

放送分：30分

放送期間：1992年1月～現在

放送時間：日曜日 4：30～5：00

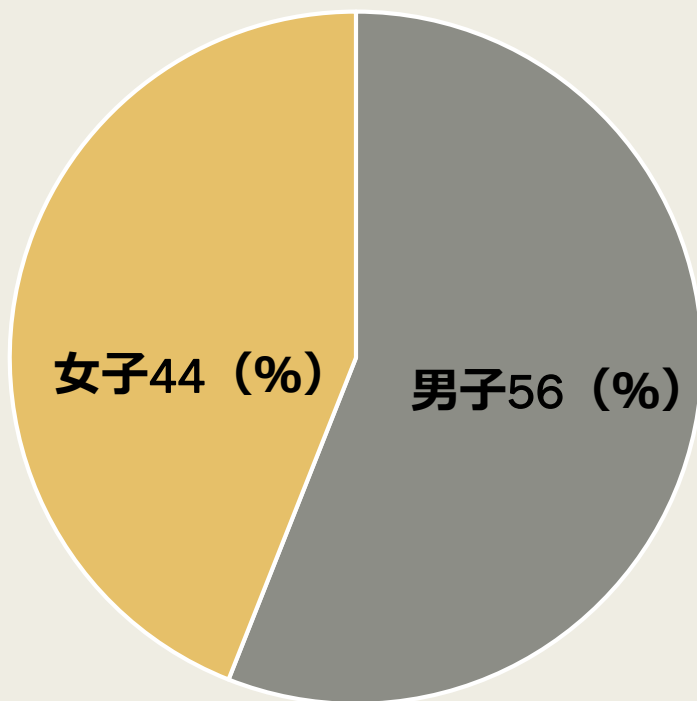
タイトルは「**テレ**ビドキュ**メンタリー**」からの略称による造語で、現代社会の問題提起・速報性をリアルに放送している番組



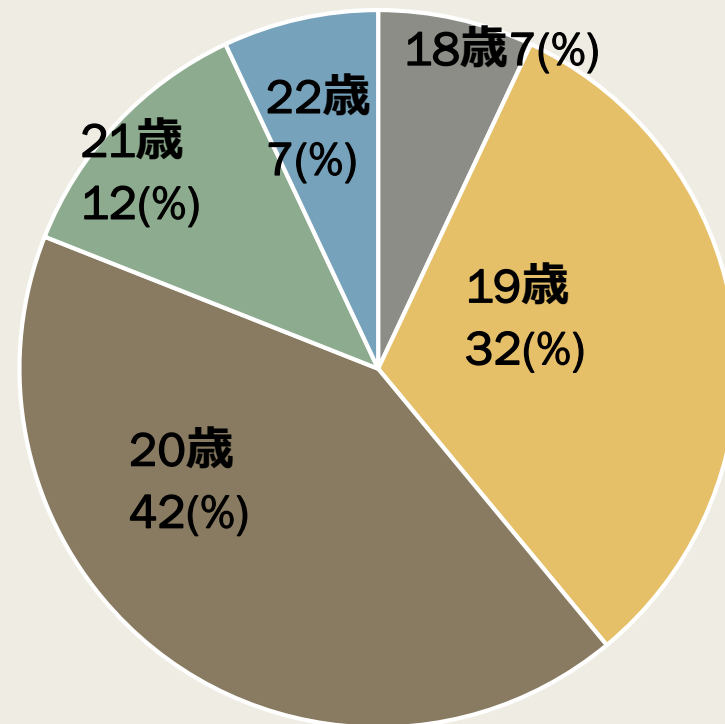
# 質問紙配票によるアンケート 調査結果

2019年11月 愛大生200名

性別

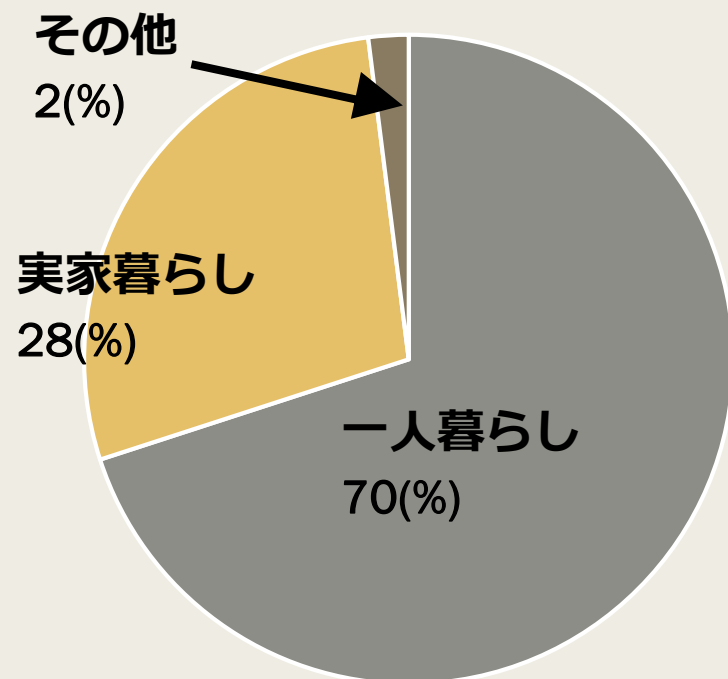


年齢

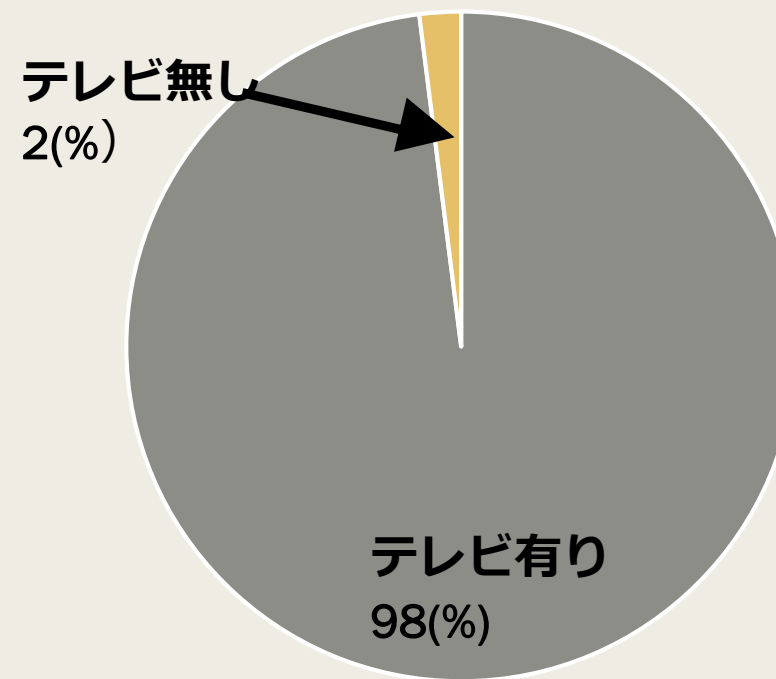


# 属性

## 生活様式

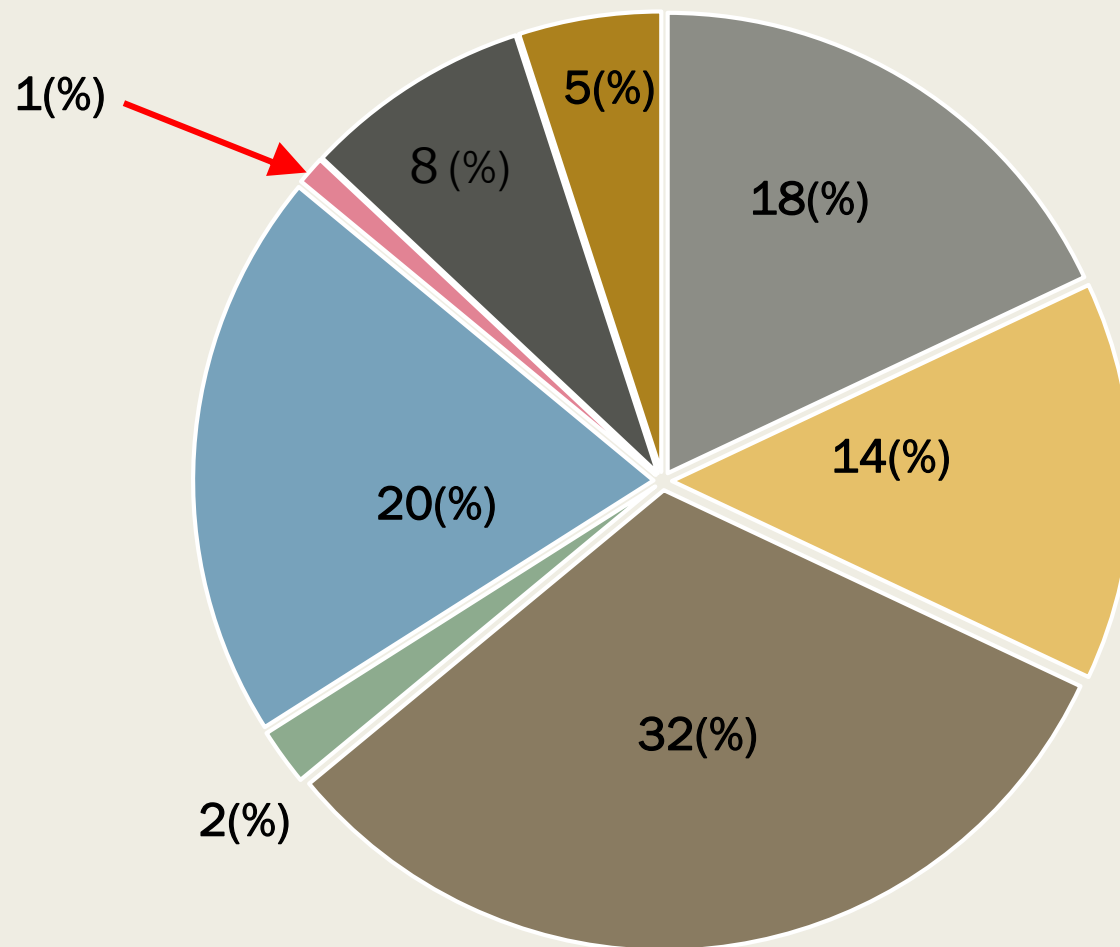


## テレビの有無



# 属性

## 視聴時間割合



1時間～2時間が  
**過半数**

近年テレビ制作  
で、30分番組が  
多くなったことが  
原因か？

大学生は30分番組  
や1時間番組を  
続けてみている可  
能性が有る。

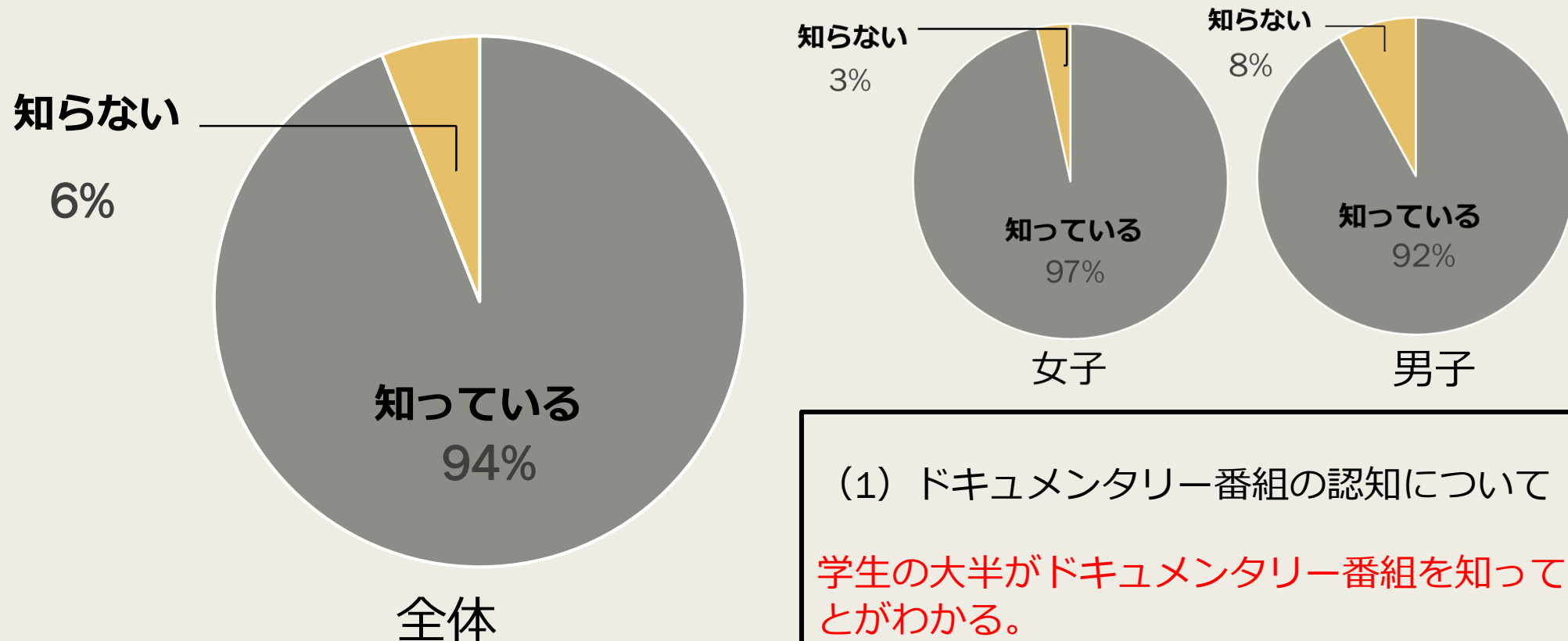
全く見ない0時間  
も**18%**存在する。

■ 0時間 ■ 1時間未満 ■ 1時間 ■ 1時間半 ■ 2時間 ■ 2時間半 ■ 3時間 ■ 3時間以上

## ドキュメンタリーに対する認知と視聴に関する質問

\* 配布資料の質問紙を参照ください

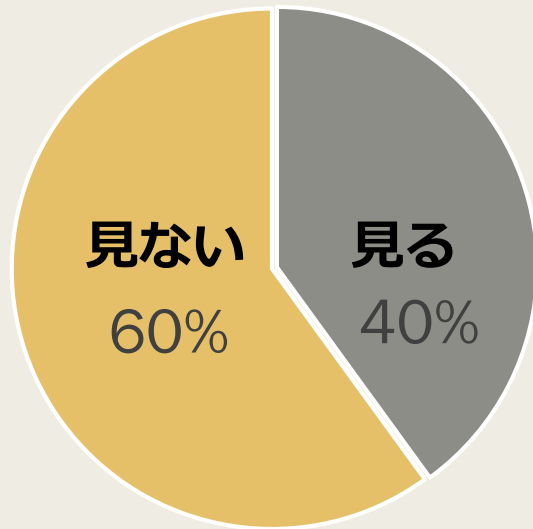
(1) あなたはドキュメンタリー番組を知っていますか？



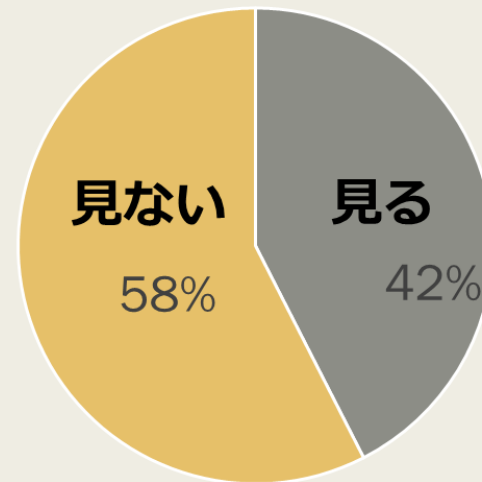
(1) ドキュメンタリー番組の認知について

学生の大半がドキュメンタリー番組を知っていることがわかる。

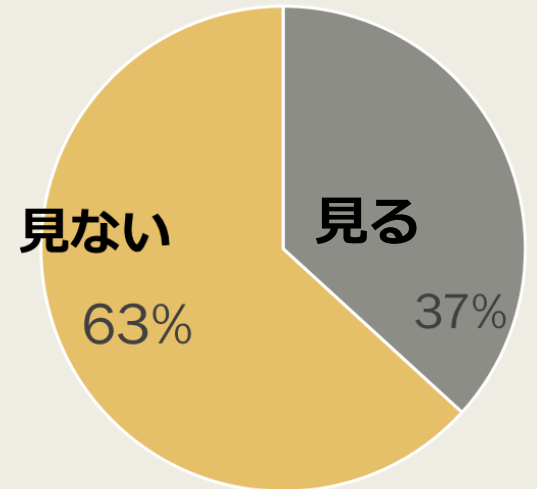
## (2) あなたはドキュメンタリー番組を見ますか？



全体



男子



女子

### (2) ドキュメンタリー番組の視聴について

回答した大学生の過半数の人が、社会で起きている問題や事件、流行に対して関心が薄い状況や、関心はあってもそのような情報をドキュメンタリー番組以外のツールで取り入れている可能性があるかと推測した。

女子よりも男子の方が社会で起きている問題や事件、流行に関する情報を取り入れている傾向があると推測した。

# ドキュメンタリー番組の認知×視聴（人）

以下、有意水準 $p<.05$

| 全体        | (2) 見る | (2) 見ない | 合計  |
|-----------|--------|---------|-----|
| (1) 知っている | 80     | 108     | 188 |
| (1) 知らない  | 0      | 12      | 12  |
| 合計        | 80     | 120     | 200 |

クロス集計

$p$ 値 = 0.004  
 $\chi^2 = 8.51$   $df=1$   
 $p<.05$

# ドキュメンタリー番組を 認知×視聴（人）

| 男         | (2) 見る | (2) 見ない | 合計  |
|-----------|--------|---------|-----|
| (1) 知っている | 48     | 56      | 104 |
| (1) 知らない  | 0      | 9       | 9   |
| 合計        | 48     | 65      | 113 |

男子

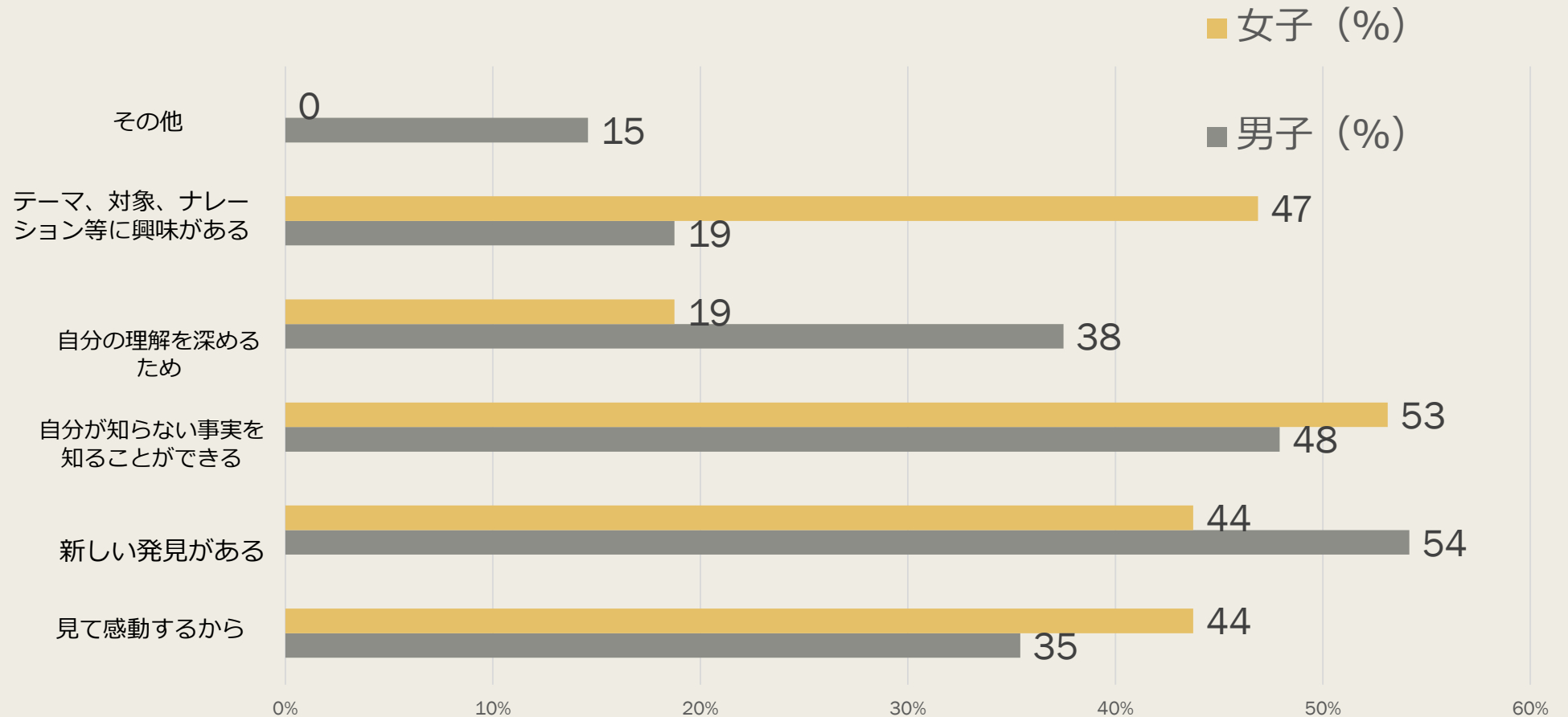
p値 = 0.007  
 $\chi^2 = 7.233$  df=1  
p<.05

| 女         | (2) 見る | (2) 見ない | 合計 |
|-----------|--------|---------|----|
| (1) 知っている | 32     | 52      | 84 |
| (1) 知らない  | 0      | 3       | 3  |
| 合計        | 32     | 55      | 87 |

女子

p値 = 0.18  
 $\chi^2 = 1.814$  df=1  
n.s

### (3) ドキュメンタリー番組を見る理由



男女別ドキュメンタリーを見る理由

## 考察

### (3) ドキュメンタリー番組を見る理由について

男子の最も割合が高かった項目→「新しい発見がある」54%

男子の48%が自分が知らない事実を知ることができる」と回答

女子の最も割合が高かった項目→「自分が知らない事実を知ることができるため」

常に新しい発見をしたいと感じている人が多いことが示唆された

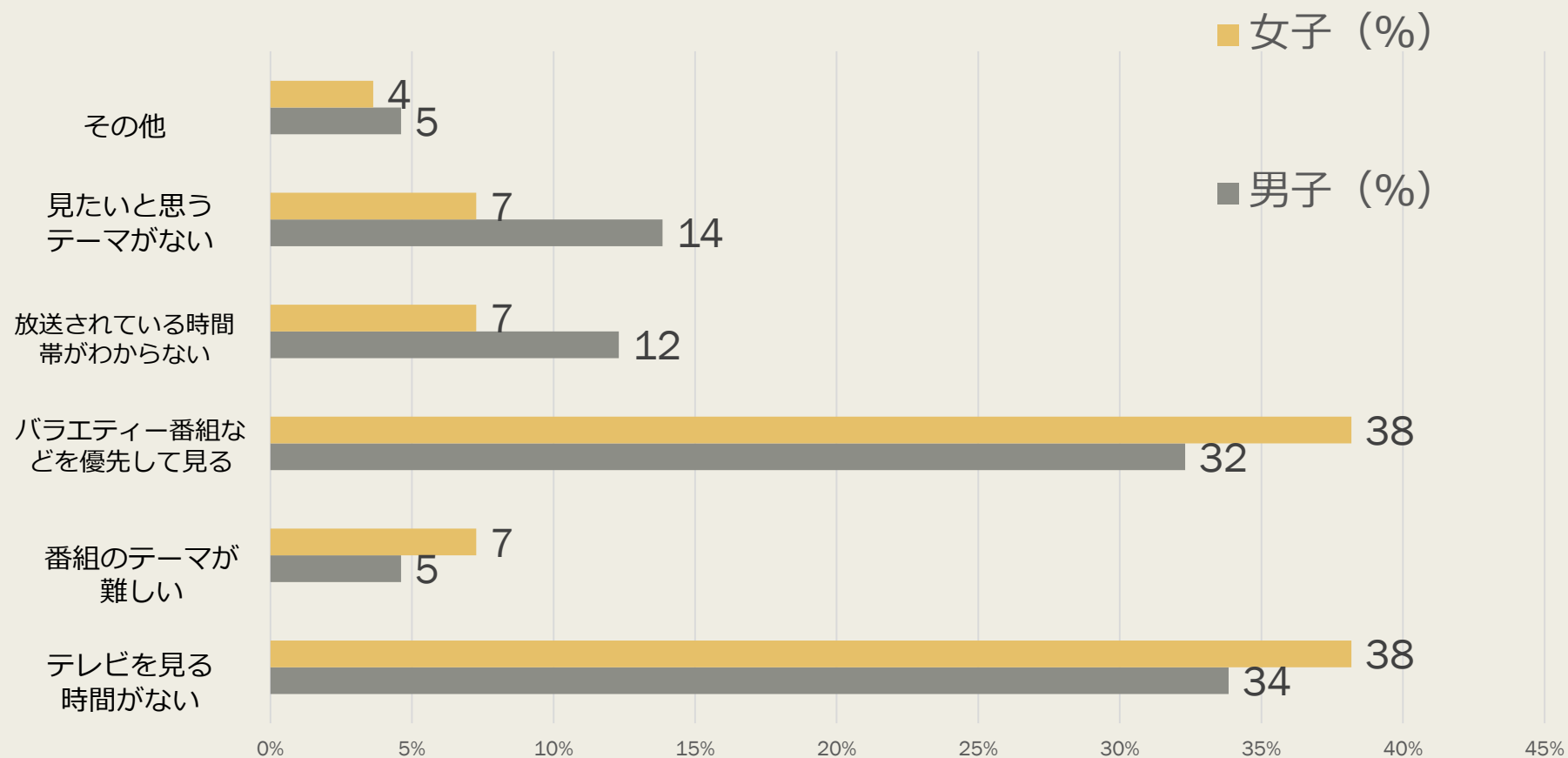


女子の47%が「テーマ、対象、ナレーション等に興味がある」と回答



ドキュメンタリー番組を視聴する際にその番組のテーマ、対象  
ナレーションを気にしていることが示唆された

#### (4) ドキュメンタリー番組を見ない理由



男女別ドキュメンタリー番組を見ない理由

## 考察

### (4) ドキュメンタリー番組を見ない理由について

男子、女子がドキュメンタリー番組を見ない理由として最も割合が高かった項目は「テレビを見る時間がない」の男子34%と女子38%であった

3人に1人の大学生が生活にテレビを視聴する時間が組み込めない実態が窺われた。

「バラエティー番組などを優先して見る」と答えた人が、男子32%女子38%で最も高かった

大学生の中には、テレビを視聴するが「ドキュメンタリー番組よりも優先して見たい番組」があり、それがドキュメンタリー番組を見ない理由になっていることが示唆された。

順位 複数回答

大学生が知っているドキュメンタリー番組

N=200

回答数:809

**1位 情熱大陸 (180)**

**2位 プロフェッショナル (159)**

※男女人数割合

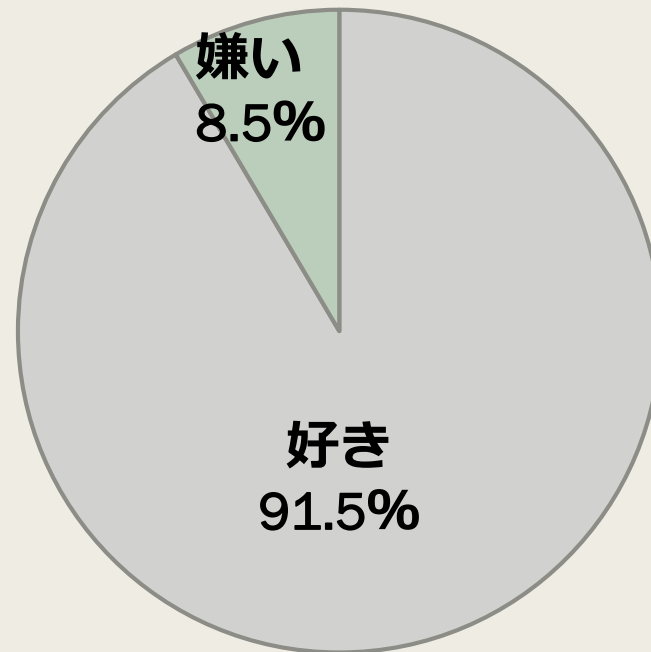
情熱大陸回答者の男女比率                      男子    57%    女子43%

プロフェッショナル回答者の男女比率    男子    56%    女子44%

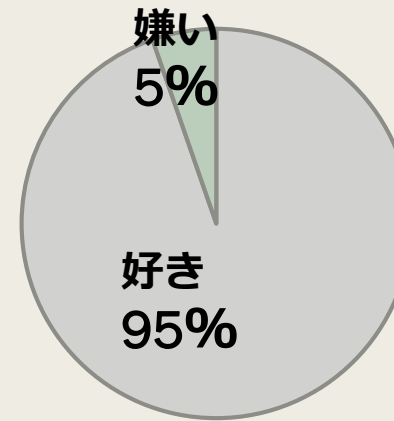
# スポーツ×ドキュメンタリーの認知と視聴に関する質問

あなたはスポーツが好きですか？

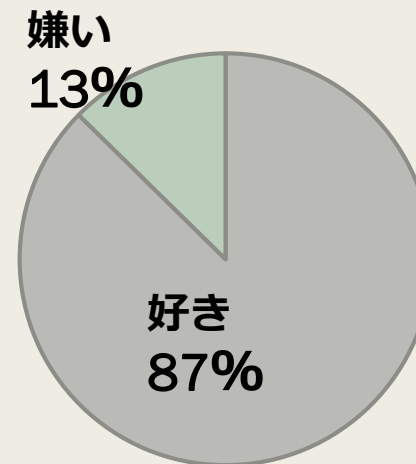
全体(N=200)



男子(N=113)



女子(N=87)



## 選択式設問結果

4 件法（4 強くそう思う/ 3 大体そう思う/ 2 あまりそう思わない/  
1 全くそう思わない）＞得点化＞平均値＞標準偏差

- ①スポーツ関連のドキュメンタリー番組が好きだ
- ②スポーツ関連のドキュメンタリー番組はリアルタイムで見る
- ③スポーツ関連のドキュメンタリー番組は30分以内が適切だと思う
- ④好きな芸能人がナレーションをしていたら知らないスポーツがテーマでも見たいと思う
- ⑤自分の地域のスポーツチームがテーマのドキュメンタリー番組を見たいと思う
- ⑥スポーツ関連のドキュメンタリー番組に取り上げたチーム、選手を応援したいと思ったことがある

男子の平均値と標準偏差

|           | ①    | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| $\bar{x}$ | 2.96 | 1.93 | 2.79 | 2.45 | 2.96 | 2.91 |
| SD        | 0.81 | 0.87 | 0.81 | 1.01 | 0.86 | 0.94 |

女子の平均値と標準偏差

|           | ①    | ②    | ③    | ④    | ⑤    | ⑥    |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| $\bar{x}$ | 2.91 | 1.78 | 2.67 | 2.48 | 2.81 | 3.02 |
| SD        | 0.86 | 0.82 | 0.89 | 1.07 | 1.01 | 0.85 |

|           | スポーツ好き上位群<br>(3,4の回答者) | スポーツ好き下位群<br>(1,2の回答者) |
|-----------|------------------------|------------------------|
| ①スポドキュ好き  | 83%(122)               | 17%(24)                |
| ②リアルタイム見る | 28.7%(42)              | 71.3%(104) ( )=人       |

クロス集計  $\chi^2$ 検定  
 $p=1.8384E-21$   $p<.05$

スポーツが好きな人の中で①スポーツ関連のドキュメンタリー番組が好きな人は83%であった。



スポーツが好きな人はスポーツ関連のドキュメンタリー番組を好む。

スポーツが好きな人の中で②スポーツ関連のドキュメンタリー番組をリアルタイムで見る人は28.7%であった。



スポーツが好きな人でもあまりリアルタイムでスポーツ関連のドキュメンタリー番組は見ない。

各項目ごとに男女の平均に有意差があるかについて、①と②に有意差があった。( t 検定  $p=.05$ )

### ①スポドキュ好き

|            | 変数 1     | 変数 2     |
|------------|----------|----------|
| 平均         | 3.097345 | 2.747126 |
| 分散         | 0.624368 | 0.749265 |
| 観測数        | 113      | 87       |
| プールされた分散   | 0.678616 |          |
| 仮説平均との差異   | 0        |          |
| 自由度        | 198      |          |
| t          | 2.980651 |          |
| P(T<=t) 片側 | 0.001618 |          |
| t 境界値 片側   | 1.652586 |          |
| P(T<=t) 両側 | 0.003237 |          |
| t 境界値 両側   | 1.972017 |          |

男女ともにやや強い肯定傾向がある

### ②リアルタイム見る

|            | 変数 1     | 変数 2     |
|------------|----------|----------|
| 平均         | 1.99115  | 1.712644 |
| 分散         | 0.830278 | 0.579257 |
| 観測数        | 113      | 87       |
| プールされた分散   | 0.721249 |          |
| 仮説平均との差異   | 0        |          |
| 自由度        | 198      |          |
| t          | 2.299202 |          |
| P(T<=t) 片側 | 0.011268 |          |
| t 境界値 片側   | 1.652586 |          |
| P(T<=t) 両側 | 0.022537 |          |
| t 境界値 両側   | 1.972017 |          |

男女ともにやや強い否定傾向がある

次に、設問①～⑥の相関係数を求め、相関があるもの、独立性の  
関係が見られるかを調べた。

| 相関      | ①好き   | ②リアルタイム | ③30分以内 | ④好きな芸能人 | ⑤自分の地域 | ⑥選手を応援 |
|---------|-------|---------|--------|---------|--------|--------|
| ①好き     | 1     |         |        |         |        |        |
| ②リアルタイム | 0.373 | 1       |        |         |        |        |
| ③30分以内  | 0.177 | 0.071   | 1      |         |        |        |
| ④好きな芸能人 | 0.213 | 0.236   | 0.123  | 1       |        |        |
| ⑤自分の地域  | 0.338 | 0.215   | 0.075  | 0.331   | 1      |        |
| ⑥選手を応援  | 0.423 | 0.249   | 0.045  | 0.257   | 0.378  | 1      |

黄：やや強い相関 青：弱い相関

相関があった項目の独立性の結果  $\chi^2$ 検定  $p=.05$

|     | p値       | $\chi^2$ 値 | 関係性                     |
|-----|----------|------------|-------------------------|
| ①×④ | 1.11E-07 | 28.16      | 強い関係性○( $p<.05, df=1$ ) |
| ①×⑤ | 0.506321 | 0.44       | 関係性△( $p>.05, df=1$ )   |
| ①×⑥ | 0.567494 | 0.32       | 関係性△( $p>.05, df=1$ )   |
| ②×④ | 1.45E-07 | 27.65      | 強い関係性○( $p<.05, df=1$ ) |
| ②×⑤ | 5.92E-22 | #NUM!      | 関係性○( $p<.05, df=1$ )   |
| ②×⑥ | 9.82E-27 | #NUM!      | 関係性○( $p<.05, df=1$ )   |
| ④×⑤ | 1.18E-12 | 50.51      | 強い関係性○( $p<.05, df=1$ ) |
| ④×⑥ | 1.7E-16  | 67.39      | 強い関係性○( $p<.05, df=1$ ) |
| ⑤×⑥ | 0.216729 | 1.52       | 関係性△( $p>.05, df=1$ )   |

期待する内容  
複数回答

スポーツドキュメンタリー番組に期待する内容について

N = 200 回答数 = 279

**第1位 b.自分がこれまで経験したことのあるスポーツ(146)**

**第2位 a.旬のスポーツ (91)**

**第3位 c. これまで経験したことがないスポーツ(33)**

**第4位 d.その他（自由記述）**

ex)) ニューススポーツ、マイナースポーツ等 (9)

## 自由記述

## スポーツドキュメンタリー番組に期待する内容

**KJ法**（川喜田.1970）に準じて質問項目ごとに分類／カテゴリー化＞記述単位を抽出しカード化＞単位化したカードに記載されている内容の類似性に注目してグループ化＞グループをラベル化＞タイトル作成＞関係性を図解化＞考察

回答数（138）

分類／分析の客観性を確保するために学生3、有識者1の計4名で実施した。

experience

（91名）

- ・挫折からの成功
- ・成功のストーリー
- ・ライフヒストリー
- ・強くなった方法

method

（37名）

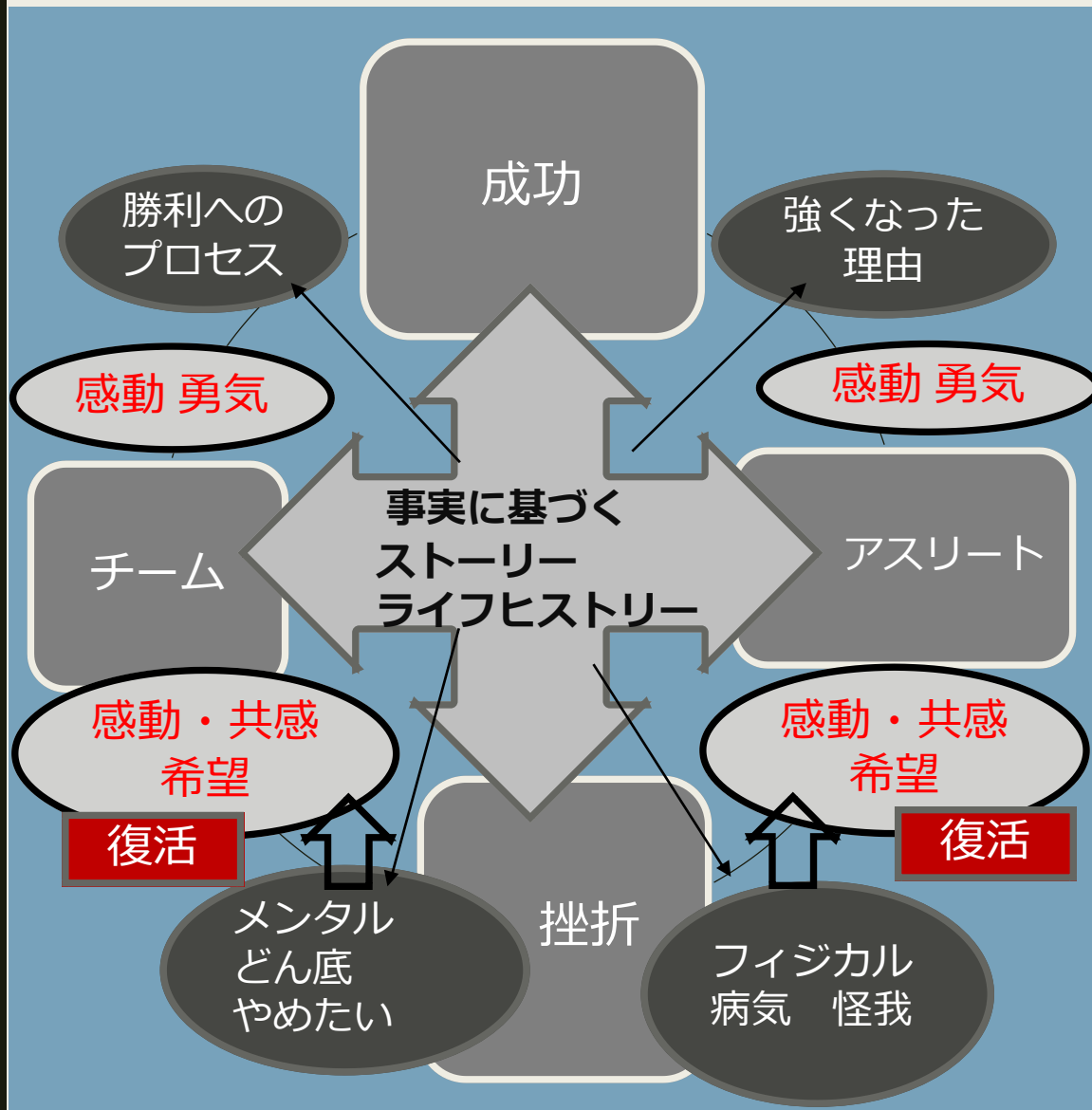
- ・練習
- ・指導マネジメント
- ・戦術・チーム力
- ・スキル

その他

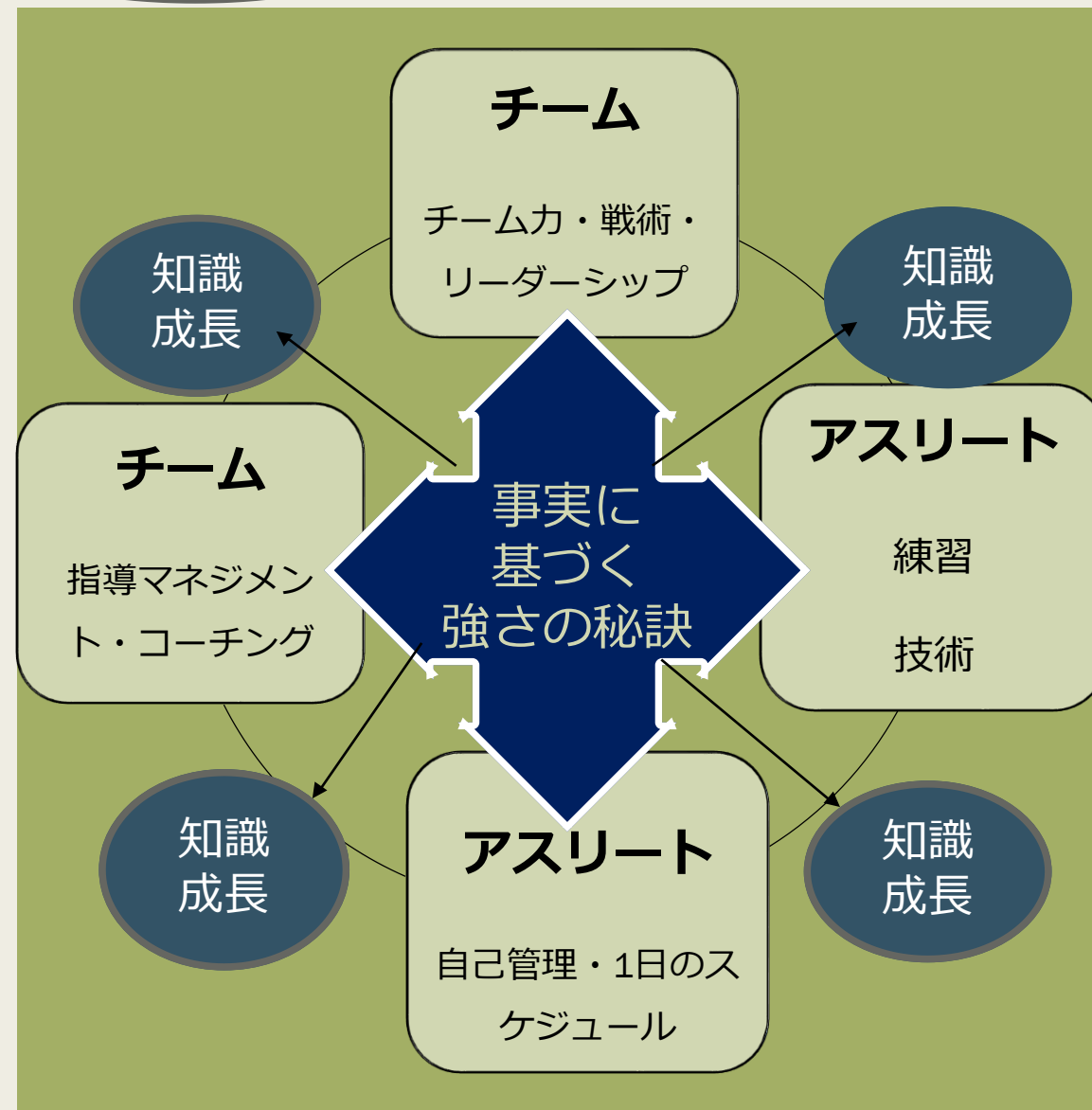
（10名）

- ・スポーツ業界
- ・流行のスポーツ
- ・障がい者スポーツ

## experience



## method



## まとめ

### <認知について>

◆今回調査対象の大学生のドキュメンタリー番組の認知度は予想した以上に高く、スポーツドキュメンタリー番組を好意的に捉えていた。

### <視聴について>

◆ドキュメンタリーやスポーツドキュメンタリー番組が好きな人でも、リアルタイムでの視聴が少なく、男子の視聴は自分の地域のスポーツチームを取り上げた番組、女子の視聴は番組ナレーションで好きなタレントの出演に影響を受ける傾向がある。

◆スポーツドキュメンタリーの好感度とタレント、リアルタイム視聴とタレント、タレントと地元チーム、タレントと登場した選手の応援、これらに関係性があることが示唆された。

◆男女ともに自分がこれまで経験したことのあるスポーツの番組を期待しており、番組で取り上げたチームや選手を応援したいと思う傾向が強いことが示唆された。

### <番組への要望について>

◆スポーツドキュメンタリー番組に“感動・共感・希望”の経験（experience）と“自己の成長”に繋がる知識や方法（method）を要望していることが示唆された。

備考：番組への要望のコメント例

①選手がどのような生活を送っているか興味を持っている ②どん底から這い上がっていく姿には感銘を受ける ③優勝するために練習以外で取り組んでいることに興味がある ④強豪チームの練習やトレーニングを参考にしたい

# 終わりに

後日、これらの結果・考察をステークホルダーである愛媛朝日テレビ様に報告する予定です。

特に今回の番組への要望が、学生のスポーツドキュメンタリーの視聴の向上と若者のテレビ視聴の増加に繋がることを期待してやみません。

ドキュメンタリーの文献調査ならびにアンケート配布のサポートをしてくれたスポーツ健康マネジメントコース2回生田中君、宮村さん、松下君に心から感謝します。

**ご清聴ありがとうございました。**